

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	COCO育		
○保護者評価実施期間	R7年1月10日 ~ R7年1月19日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	70	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	R7年1月10日 ~ R7年1月19日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年1月24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成している。	電話・対面による保護者面談を実施し、子どもの課題や保護者のニーズを確認、分析し計画を作成している。	外部のSVを通して、更に自尊心を高めながら適切な行動の習得を目指していきます。
2	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われている。	年間3回程度の保護者会を開くと同時に、卒業生の親御さんも参加してもらおう事で将来の見通しや意見交換などを積極的に行っている。 また、法人内で定期的にペアレントトレーニングを実施しており、そこで応用行動分析学に基づく子育ての方法を実施している。	今後も継続していきます。
3	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	送迎時の保護者とのやり取りやシステムでのオンタイムのやり取りなどを通して、連絡を取り合っている。また場合によっては、関係機関との情報共有なども積極的に実施している。	関係機関への訪問については、実施数が少ないので顔の見える付き合いが出来るよう実施していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の機会が少ない。	日々の療育活動のメニューを実施することに重視しすぎて、地域でのこども達の交流や活動に対する繋がりが少ない。その課題について解決策を実施しているが、即効性のある広がりを見せていない。	地域交流として地区センターでの活動や自治会の祭りに参加したり、喜劇の発表会を開催しています。引き続き、地域交流の機会を設けていきます。
2	年二回の避難訓練等の実施が保護者に周知されていない。	年間計画で避難訓練を計画し、確実に実施しているのだが、保護者への周知等や実践報告が十分ではない	マニュアルを作成し、緊急時の対策に取り組んでいます。また、定期的(1月、7月)に訓練を行っています。
3	生活空間や活動内容のスペースが十分にはない。	机や教材が多数あり、スペースを圧迫している。	整理整頓、活動目的に応じてレイアウトを考えて安全な空間を確保しています。